

資源を大切に生かし

エコでオシャレな商品に



「ecobito えこびと」店内の様子



マルシェスペースでは地元の野菜も購入できる

株式会社 中村

代表取締役社長

中村 光子子 さん

(株) 中村の直営店「ecobito えこびと」が4月、神埼市にオープン。「KUSU HANDMADE」ブランドの商品を中心に、地元の野菜や自然食材が揃うマルシェ、オーガニックコーヒーが味わえるカフェも併設している。立地もよく大勢の女性客で賑わっている。ネットショップ「ecobito」のリアル店舗である。

「ecobito」で社長の中村光子子さんにインタビュー出来た。話の中心はシンプルでオシャレにディスプレイされている「KUSU HANDMADE」。

「KUSU HANDMADE」は楠から自社抽出した

樟脳(カンフル)と楠を加工した生活雑貨類のブランド名。約六十種類の製品のほとんどを、自社で製造・販売している。リピーターが多いのが特徴。ブランド立ち上げから8年で大きく成長。現在(株)中村の売り上げの3割を占めるまでになっている。

楠から抽出したカンフルオイル製品の説明してもらった。「さわやかな芳香が特長で、防虫効果と消臭効果、それにリラククス効果があります。アロマオイルや防虫剤として使っていただけます。一、六〇〇円(一〇ミリリットル)で販売しています。」

また楠を長方形の積み木状に加工した「エコブロック」





工場に入荷したクスの丸太



クスのチップ



自社抽出した樟脳とオイル



アロマオイルとして使える
カンフルオイル

も人気。「衣類の防虫・消臭剤としてタンズや衣装ケースに入れて使います。天然の消臭剤として体にも優しく、香りが弱くなったら、カンフルオイルを塗り足して何度でも使えます。」

ところで、「KUSU HAND MADE」立ち上げのきっかけは何だったのだろうか。「大量に出る楠の端材をどう使い切ろうか思案したのがきっかけです。知り合いから『小物にすればいい』というアドバイスを受け、結局できあがったのがエコブロックだったのです。」それは今から十年前の出来事だった。その二年後に「KUSU HAND

M A D E」を立ち上げるのができた。そして四年前からカンフルオイル、樟脳の自社抽出を始めた。「事業拡大のためにどうしても必要でした。当初は仕入れていましたが、少量しか手に入らなかったのです。」

蒸留抽出装置の開発に大変苦労したという。市販の機械がなかったからだ。試行錯誤が続いた。「蒸留装置がまとってしまったり、楠のチップの大きさ・形状が合わなかったりして……。効率的な抽出が出来なかったのです。工業試験場のサポートを得ながら一年ほどでなんとか完成できました！」



試行錯誤して開発した蒸留抽出装置

その後営業に力を入れていった。「そんな中で大きかったのが、幅広い世代に人気のセレクトショップ『UNITED AROWS』さんとの出会いでした。『UNITED AROWS』のロゴを冠したエコブロックが流通したことで、エコブロックの認知度が大いに上がった。「経営革新計画」の承認も事業拡大に役立った。「計画通りに事業を進捗させていく励みになりました。定期的な状況を報告する必要があったからです。それに補助金によって商品開発・販路拡大ができたのは大きいですね。ギフトショーにも出展できアパレル業界やオーガニック宅配など新しいお客様との出会いがありました。」

昨年の一月には和精油



クスのチップが詰められた「サシェ」 ¥1,200 (税別)

「W A C C A」ブランドを立ち上げている。楠とともに、奈良・吉野の「ヒノキ」、北海道の「和ハッカ」、沖縄の「月桃」などの地域資源の植物を活かした精油十種類のシリーズだ。昨年九月には、パリの「コスミーツィング・パリ」に出展し、日本の香りを披露した。

「KUSU HAND MADE」は資源を大切にすること



くり返し使えるクスの「エコブロック」



桐箱入りのカンフルオイル付き「エコブロック」 ¥3,000 (税別)

業。「新たに伐採した楠を使うことは決してありません。山林の整備や九州新幹線建設、採石場開設の際に伐採された楠を業者に確保して頂いているのです。それにオイル抽出済みのウッドチップも商品化し販売しています。床下にまくと害虫忌避剤の代わりになります。畑にまくと雑草を抑制し、保湿効果があるのです。」原料確保から最終処理まで無駄がない。

夢を聞いてみた。「人と自然に優しい天然素材商品の展開を通して、オーガニック＆ナチュラルなライフスタイルを広く発信できれば嬉しく思います。それに楠が日本の木の象徴になればと思っています。認知度を挙げていきたいですね。大きな野望でしょうか。(笑)」と夢を語ってくれました。